

財政状況等一覧表（平成20年度決算）

(単位:百万円)

団体名 鏡石町

標準税収入額等 A	普通交付税額 B	臨時財政対策 債発行可能額C	標準財政規模 A+B+C
1,906	980	160	3,046

1. 一般会計等の財政状況

(単位:百万円)

会計名	歳入	歳出	形式収支	実質収支	他会計等からの繰入金	地方債現在高	備考
一般会計	4,093	3,988	105	93	1	5,579	
土地取得事業特別会計	3	3	0	0	3	-	
鏡石駅東第1土地区画整理事業特別会計	65	65	0	0	34	155	
育英資金貸付費特別会計	11	11	0	0	-	-	
一般会計等	4,135	4,029	106	94		5,734	

「一般会計等」の数値は、各会計間の繰入・繰出などを控除(純計)したものであることから、各会計間の合計額と一致しない項目がある。

2. 公営企業会計等の財政状況

(単位:百万円)

会計名	総収益 (歳入)	総費用 (歳出)	純損益 (形式収支)	資金剰余額/不足額 (実質収支)	他会計等からの繰入金	企業債(地方債)現在高	左のうち一般会計等繰入見込額	備考
国民健康保険特別会計	1,263	1,224	39	39	66	-	-	
老人保健特別会計	106	106	0	0	8	-	-	
後期高齢者医療特別会計	82	82	0	0	21	-	-	
介護保険特別会計	599	567	32	32	81	-	-	
工業団地事業特別会計	69	66	3	113	0	-	-	
公共下水道事業特別会計	571	563	8	8	178	3,815	2,918	
農業集落排水事業特別会計	64	63	1	1	46	519	486	
上水道事業会計	207	205	2	436	0	1,017	0	法適用
公営企業会計等計				629		5,351	3,404	

(注) 1. 法適用企業とは、地方公営企業法の全部又は一部を適用する公営企業である。

2. 法適用企業会計以外の特別会計については「総収益」「総費用」「純損益」の欄に、それぞれ「歳入」「歳出」「形式収支」を表示している。

3. 「資金剰余額/不足額(実質収支)」は、地方公共団体財政健全化法に基づくものであり、資金不足額がある場合には負数(-)で表示している。

4. 「左のうち一般会計等繰入見込額」は、企業債(地方債)現在高のうち将来負担比率に算入される部分の金額である。

3. 関係する一部事務組合等の財政状況

(単位:百万円)

一部事務組合等名	総収益 (歳入)	総費用 (歳出)	純損益 (形式収支)	資金剰余額/不足額 (実質収支)	他会計等からの繰入金	企業債(地方債)現在高	左のうち一般会計等負担見込額	備考
福島県市町村総合事務組合								
・一般会計	12,534	12,116	418	418	2,826	-	-	
・消防補償等特別会計	1,727	1,727	0	0	-	-	-	
・消防貸しつけ金特別会計	5	3	2	2	-	-	-	
・非常勤職員公務災害補償特別会計	25	16	9	9	-	-	-	
・自治会館管理特別会計	13	13	0	0	-	-	-	
福島県後期高齢者医療広域連合								
・一般会計	2,530	2,432	98	98	-	-	-	
・後期高齢者医療特別会計	181,606	177,305	4,301	4,301	1,346	-	-	
郡山地方広域市町村圏組合								
・一般会計	43	40	3	3	-	-	-	
公立岩瀬病院組合								
・病院事業会計	3,431	3,914	483	860	-	721	55	法適用
須賀川地方広域消防組合								
・一般会計	1,894	1,872	22	22	-	352	33	
須賀川地方保健環境組合								
・一般会計	915	830	85	85	-	648	5	
県中地域水道用水供給企業団								
・水道用水供給事業会計	0	0	0	66	-	-	-	平成20年度解散
一部事務組合等計				5,864		1,721	93	

財政状況等一覧表（平成20年度決算）

(単位:百万円)

団体名 鏡石町

標準税収入額等 A	普通交付税額 B	臨時財政対策 債発行可能額C	標準財政規模 A+B+C
1,906	980	160	3,046

4. 地方公社・第三セクター等の経営状況及び地方公共団体の財政的支援の状況

(単位:百万円)

地方公社・第三セクター等名	経常損益	純資産又は 正味財産	当該団体から の出資金	当該団体から の補助金	当該団体から の貸付金	当該団体からの 債務保証に 係る債務残高	当該団体からの 損失補償に 係る債務残高	一般会計等 負担見込額	備考
地方公社・第三セクター等計									

(注) 損益計算書を作成していない社団・財団法人は「経常損益」の欄には当期正味財産増減額を表示している。

5. 充当可能基金の状況

(単位:百万円)

充当可能基金名	平成19年度 決算 A	平成20年度 決算 B	差引 B-A
財政調整基金	269	271	2
減債基金	70	70	0
その他充当可能基金	955	912	43
充当可能基金計	1,294	1,253	41

(注) 「充当可能基金」とは、基金のうち地方債の償還等に充当可能な現金、預金、国債、地方債等の合計額をいい、貸付金及び不動産等を含まない。

6. 財政指標の状況

財政指標名	平成19年度 決算 A	平成20年度 決算 B	差引 B-A	早期健全化 基準	財政再生 基準	資金不足比率 (公営企業会計名)	平成19年度 決算 A	平成20年度 決算 B	差引 B-A
実質赤字比率	1.98	3.08	1.10	15.00	20.00	上水道事業会計	-	-	0.00
連結実質赤字比率	22.71	23.74	1.03	20.00	40.00	工業団地事業 特別会計	-	-	0.00
実質公債費比率	21.8	21.5	0.3	25.0	35.0	公共下水道事業 特別会計	-	-	0.00
将来負担比率	187.3	143.3	44.0	350.0		農業集落排水事業 特別会計	-	-	0.00
財政力指数	0.58	0.60	0.02						
経常収支比率	86.8	87.1	0.3						

(注) 1. 「実質赤字比率」、「連結実質赤字比率」、「資金不足比率」は負数(-)で表示している。

2. 「実質赤字比率」、「連結実質赤字比率」は、収支が黒字の場合には便宜的に当該黒字の比率を正数で表示している。

3. 早期健全化基準に相当する「資金不足比率」の「経営健全化基準」は、公営競技を除き、一律 20%である(公営競技は0%)。

4. 「早期健全化基準」及び「財政再生基準」は平成20年度決算における基準である。